

S P ブ ロ ッ ク

国土交通省 NETIS（新技術情報提供システム）掲載期間終了

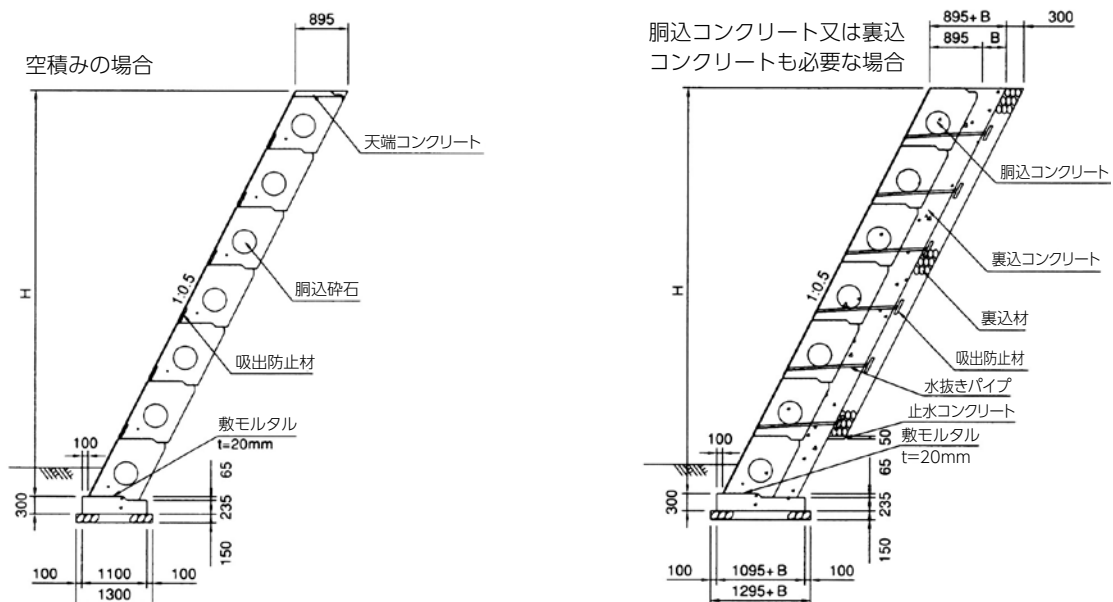
特 長

1. スピード土留プレハブ工法は、平成 24 年度道路土工指針に準拠した大型ブロックであり、胴込（裏込）工を施し所定の高さまで築造して行くものです。
2. 各ブロックが扶壁式擁壁となっています。底版上に埋め戻しされた土砂は安定のためのカウンターウェイトとして作用しております。
3. 積みブロックの様な経験工学的に胴込材の決定が出来ない要素（現場条件）がある場合は、一般擁壁の様に土圧を与えて、胴込（裏込）を選定しながら安定条件を確保する事が可能です。
4. 歩掛については、石積のように石工を必要とせず据付けは特殊作業員（ブロック工）と普通作業員で充分です。又、現場打ちのコンクリート擁壁を比較しても型枠工や大工など必要としない、きわめて省力的で現在の建設業界に即した工法と言えます。
5. 扶壁両側面の 1 つの孔により、隣接する壁体をボルトにて連結するので、壁体の部分的なはらみ出しを防止すると共に施工上にも役立っております。
6. 水抜き孔は約 1 m² 当り 1 個を設けており、ブロック 1 段毎に排水が可能です。又、吸出防止材は一般に市販されている不織布が適当です。

S P ブロック積み上げ方法参考断面図

施工断面は背面の地山または盛土の土質・地形条件から安定計算により下図のように決定します。尚、基礎形状は支持地盤の条件によっては安定計算を行い、変更することもあります。

S P ブロックⅢ－1 型



※この図は標準図ですので、現場に応じて適宜設計して下さい。

※上記の他に、4分勾配用の2型・3分勾配用の3型があります。